

▶ 第10章

新型コロナウイルスのリスク・コミュニケーション ——中日の比較と今後の対応

上海交通大学日本研究センター 助理研究員

尹 月

【ポイント】

- ▶ リスク・コミュニケーションとは、リスク管理者（政府）、リスク評価者（専門家）、一般市民、およびその他の利害関係者の間で、リスクに関する情報や意見を交換するプロセスである。深刻な公衆衛生上の危機に直面する際に、リスク・コミュニケーションが重要な役割を果たす。
- ▶ リスク情報を発表する過程における中日両国政府の慣行やメカニズム、そしてリスク情報の内容は似通っている部分が多いが、両国の基層行政部門や伝統的メディア、そしてインターネットなどのチャンネルを通じてリスク情報を形成・発信する過程では、政治制度、文化、危機管理メカニズムの影響を受け、大きな違いがある。
- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大に対応する際には国際協力が非常に重要である。国際社会の主要なプレーヤー（主体）として、中日両国は今後も防疫協力を推進し、特に相手国のリスク・コミュニケーションの経験を生かす必要がある。



リスク・コミュニケーションの概念図



資料：Zhang, Liwei, Huijie Li, and Kelin Chen (2020) “Effective risk communication for public health emergency: Reflection on the COVID-19 (2019-nCoV) outbreak in Wuhan, China.” *Healthcare* Vol. 8. No. 1.